

■ 予防（予防医療）とは

予防とは、病気にならないように健康な状態をできるだけ長く保つための取り組みのことです。総合的な健康増進のための医学であり、そのための医療行為が予防医療と呼ばれます。

予防医療を毎日の生活に取り入れることで、本来持っている健康維持の力を引き出すことを目指します。

動物予防医療は、3つのカテゴリ（段階）にわかれています。

持病がある、治療中の病気がある、すでにシニア期に突入している場合であっても、動物の体調、年齢、環境などに合わせてさまざまな面を取り入れることができます。

✓ 動物予防医療の3つのカテゴリ

一次予防

目的：健康維持・促進

※実際の内容と異なる場合があります
年齢や体調、動物それぞれの習性などに合わせて、生活習慣や生活環境を整えます。

食事の質・内容・量に気を配り、定期的に適切な健康管理（運動、歯磨き、目・耳・皮膚・爪などの身体ケア、ワクチン接種、フィラリア予防・ノミやマダニの予防、内部寄生虫の予防と駆除など）を実施します。

QOL（生活の質）を高めるためのさまざまな代替医療も選択肢のひとつです。

二次予防

目的：病気に対して早期発見や早期治療介入を目指す

病気や不調を早めに見つけることは、悪化や進行の予防になります。

健康状態を定期健診で常に把握しておけば、少しの変化も見落とさず、早期発見が可能となり、早めに治療を開始できます。

早い段階で病気の芽を見つけ、その進行を抑えることを目指します。

それは犬猫たちの負担はもちろん、治療費の負担軽減にもつながります。

執筆者



Ito Hiroyuki
伊藤 裕行

獣医師

苅谷動物病院グループ市川総合病院 顧問
日本獣医再生医療学会 常務理事
一般社団法人どうぶつ予防医療協会 代表理事

■ 所属

日本獣医がん学会

日本獣医腎泌尿器学会

